



Social
Workers
Day

2017年度 鹿児島県ソーシャルワーカーデー

「生きづらさに寄り添う」 ソーシャルワーク

<企画趣旨>

いざという時に私たちの生活を支える社会保障制度は数多くありますが、社会全体の「縁」が希薄化する中、怒りや哀しみ、不安や葛藤といった「生きづらさに寄り添う」支援は「人」にしかできません。

誰もが安心して暮らすことのできる地域社会を「人との繋がり」から作り上げていくことが、私たちソーシャルワーカーの重要な役割です。

本企画の第一部では自死遺族支援の現場から山口和浩さんに講演をいただき、第二部では多分野にわたる支援現場の実践をシンポジウム形式で報告いただきます。

≪主催≫ 鹿児島国際大学、公益社団法人鹿児島県社会福祉士会、鹿児島県ソーシャルワーカー協会
鹿児島県医療ソーシャルワーカー協会、一般社団法人鹿児島県精神保健福祉士協会

≪後援≫ 鹿児島県

<第一部> 基調講演

講師

山口 和浩 氏

(NPO 法人自死遺族支援ネットワーク Re 代表)

～講師略歴～

中学2年のときに父親を自殺で亡くす。その後、長崎県のNPO法人「自死遺族支援ネットワーク Re」代表として自殺遺族支援に尽力。現在は長崎県にある「社会福祉法人カメラリア大村椿の森学園」の園長も務める。

<第二部> シンポジウム

「生きづらさに寄り添う」支援現場からの実践報告

シンポジスト/社会問題と向き合い、奮闘しているソーシャルワーカーを調整中

日時 **7月29日(土)** 13:30～17:00 (受付開始 13:00)

会場 **鹿児島国際大学 4号館 411教室**

参加費 **無料** (参加申込みは不要です。直接会場にお越し下さい)

駐車場 **体育館脇の駐車場をご利用ください。**

<問い合わせ先>一般社団法人鹿児島県精神保健福祉士協会 事務局 (直通 TEL:070-1371-6837 TEL:099-203-0282)

ソーシャルワーカーデーは社会福祉士や精神保健福祉士などのソーシャルワーカーの活動を推進・普及する活動です。
7月の海の日を「ソーシャルワーカーデー」と定め、全国各地でソーシャルワーク関連のイベントが開催されています。